

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の見直しについて

1 目的

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（以下「教育委員会点検・評価」という。）については、令和2年度に策定した教育委員会の分野別個別計画（「第3次学校教育振興基本計画」、「第3次特別支援教育実施計画」、「第6次生涯学習推進計画」、「第3次図書館基本計画」、「第4次子ども読書活動推進計画」）において施策体系が変更したことから、評価体系を見直すとともに、評価単位等についても見直しを図る。

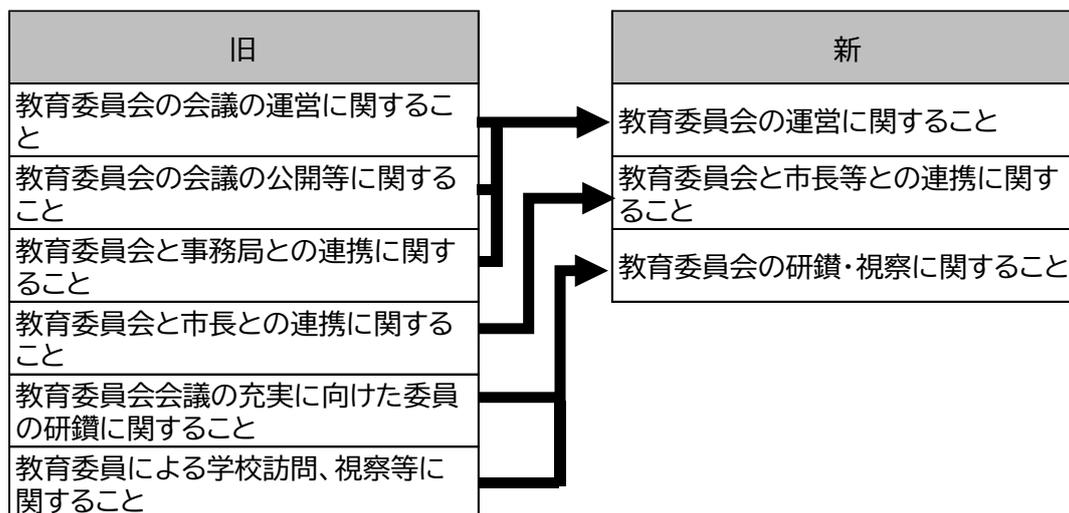
2 見直しの方向

(1) 評価する活動・施策の単位の統一

ア 教育委員会活動の点検・評価

教育委員会活動の点検・評価については、他の教育委員会施策に比べて単位が細かいことから、下表のとおり再構成を行う。

■ 活動の評価単位



イ 教育委員会施策の点検・評価

「体力の向上と健康づくりの促進（質の高い学校給食の提供）」については、第3次学校教育振興基本計画の施策の単位に合わせるため、「体力の向上と健康づくりの促進」と一つにまとめ、2ページのとおり19施策とする。

■ 施策の評価単位

	旧		新
学校教育振興基本計画	学力向上	→	学力の向上
	豊かな心を育むための教育の推進	→	豊かな心を育むための教育の推進
	体力の向上と健康づくりの促進	→	体力の向上と健康づくりの促進
	体力の向上と健康づくりの促進 (質の高い学校給食の提供)	→	特別支援教育の推進
	特別支援教育の推進	→	学校運営の充実
	学校運営の充実	→	教育環境の充実
	教育環境の整備	→	ネットワーク型の学校経営システムの構築
	ネットワーク型の学校経営システムの構築	→	幼保小中連携の推進
	小中連携の推進	→	児童・生徒の安全・安心の確保
	児童・生徒の安全・安心の確保	→	
生涯学習推進計画	いつでも、だれでも学べる身近な学習環境の整備	→	いつでも、だれでも学べる身近な学習環境の整備
	市民ニーズに合わせた生涯学習情報の提供	→	市民ニーズに合わせた生涯学習情報の提供
	地域人材と学習施設の有効活用	→	地域人材と学習施設の有効活用
図書館基本計画	資料収集方針に基づいた計画的な蔵書構成	→	学びと課題解決を支援する図書館
	図書館サービスの拡充	→	くらしに役立ち利用しやすい図書館
	図書館の効果的な運営	→	図書館の効率的・効果的な運営
子ども読書活動推進計画	家庭や地域での取組	→	家庭や地域での取組
	学校と学校図書館の取組	→	学校と学校図書館の取組
	立川市図書館の取組	→	立川市図書館の取組
	ハンディキャップ等のある子どもたちへの取組	→	すべての子どもが読書できる環境づくりへの取組

※ 特別支援教育実施計画は、旧評価においても、学校教育振興基本計画の施策「特別支援教育の推進」において評価している。

※ 新旧で施策の柱を組み替えたものは点線で表記している。

(2) 評価

ア 評価基準の明確化

現在、B評価を標準として、それを超える成果をあげた場合に、S・A評価を付けているが、A評価とB評価を明確に定義することが難しかった。そこで、A評価とB評価を統合し、下表のとおり全体を4段階とする。

また、評価にあたっては当該年度の「達成目標」に対する達成度を測る必要があるため、5ページのように評価表に当該年度の達成目標欄を追加する。

■ 評価基準

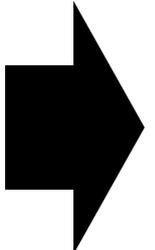
		評価	評価基準
旧	S	目標水準を超えて達成した	○特筆した取組を行い、他の施策にも大きな影響を与えた。 ○活動及び施策の目標に達成し顕著な成果をあげた。
	A	順調に目標水準に達成している	○効果的で優れた取組を行った。 ○活動及び施策の目標に達成し大きな成果をあげた。
	B	おおむね順調に目標水準に達成している	○効果的な取組を行った。 ○活動及び施策の目標に達成し成果をあげた。
	C	目標水準に達成見込みであるが一部課題がある	○一定の取組を行った。 ○活動及び施策の目標達成に向けて一定の成果をあげたが、一部課題もある。
	D	目標水準の達成に向け困難な課題がある	○取組が不十分であった。又は取組をしなかった。 ○活動及び施策の目標達成に向けて成果があがっておらず、大きな課題や問題点が残った。



		評価	評価基準
新	S	目標水準を超えて達成している	○特筆した取組を行い、他の施策にも大きな影響を与えた。 ○活動及び施策の目標を達成し顕著な成果をあげた。
	A	目標水準を達成している	○効果的な取組を行った。 ○活動及び施策の目標を達成し成果をあげた。
	B	目標水準の達成に向け一部課題がある	○一定の取組を行った。 ○活動及び施策の目標達成に向けて一定の成果をあげたが、一部課題も残った。
	C	目標水準の達成に向け困難な課題がある	○取組が不十分であった。又は取組をしなかった。 ○活動及び施策の目標達成に向けて成果があがらず、大きな課題や問題点が残った。

■ 評価表様式(記載案)

旧									
＜第2次学校教育振興基本計画＞									
施策		担当課							
1 目的・目標									
目的・目標	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; display: inline-block;"> 目的・目標を記載する </div>								
2 取組状況と成果と課題									
主な取組	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; display: inline-block;"> 当該年度の取組項目を記載する(変更無し) </div>								
取組状況	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; display: inline-block;"> 当該年度の取組項目の具体的な状況を記載する (変更無し) </div>								
成果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; display: inline-block;"> 当該年度の目標に対する成果を記載する (変更無し) </div>								
課題	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; display: inline-block;"> 当該年度の取組の課題を記載する(変更無し) </div>								
3 今後の方向性									
今後の方向性	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; display: inline-block;"> 今後の方向性を記載する </div>								
4 評価									
評価	(評価理由)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; display: inline-block;"> 評価理由を記載する(変更無し) </div>			参 考	30 年度	29 年度	28 年度	27 年度



新

<第3次学校教育振興基本計画>

施策		担当課	
----	--	-----	--

1 施策の目的・目標

目的・目標	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">計画期間における目的・目標を記載する</div>
-------	--

2 当該年度の達成目標

達成目標	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">当該年度の達成目標を記載する</div>
------	--

3 取組状況と成果と課題

主な取組	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">当該年度の取組項目を記載する(変更無し)</div>
取組状況	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">当該年度の取組項目の具体的な状況を記載する (変更無し)</div>
成果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">当該年度の目標に対する成果を記載する (変更無し)</div>
課題	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">当該年度の取組の課題を記載する(変更無し)</div>

4 次年度の施策の方向性

次年度の方向性	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 次年度の方向性を記載する ➔次年度の達成目標欄の参考となる </div>
---------	--

5 評価

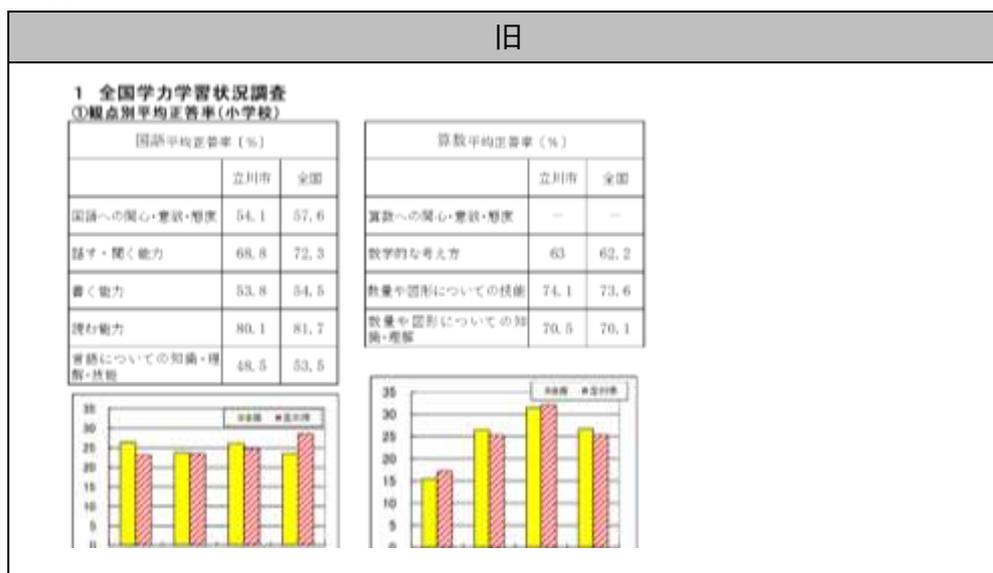
評価		評価理由	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">評価理由を記載する(変更無し)</div>	参考				
				2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度

イ 評価根拠の明確化

現在の評価根拠となる統計資料を「施策の実績」に示しているが、経年で実績を示しているものが少ない。また、統計資料の種類が毎年度変わることもある。

このことから、評価の基礎となる重要な指標については、計画期間について経年で示し、年度比較ができるようにするとともに、当該年度の評価に影響を与えたものをトピックとして示すことで、評価根拠を明確に示すこととする。

■ 施策の実績



(3) 外部委員の意見聴取方法

現在の外部委員の意見聴取は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項「教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」の規定に基づき実施しているものである。

本市の教育委員会点検・評価においては、各分野ごとに学識経験者1名から施策ごとに意見聴取を行っている。

しかしながら、今後、更に複雑化・多様化する新しい教育課題に対応していくためには、分野横断的な多様な視点で教育委員会活動や各分野の計画に基づく施策について意見を聴取する必要がある。

以上のことから、学識経験者から教育委員会点検・評価全体について一同に会して意見交換会を行ったうえで、各専門分野の学識経験者から分野別個別計画に対する意見を聴取する方法に変更する。具体的には、学識経験者全員と教育委員会事務局による意見交換会を開催し、その後、分野別個別計画ごとにその分野を専門としている学識経験者による意見を記載することとする。

(4) 施策の実績に掲載する資料の精査

前年度の教育施策の実績については、教育委員会点検・評価報告書のほかに、「立川の教育」を毎年8月に教育委員会より発行しており、教育委員会点検・評価の「施策の実績」で掲載している資料と「立川の教育」で掲載している資料に重複が見られる。

このことから、教育委員会点検・評価の「施策の実績」では、施策の進捗を図る指標や当該年度のトピックなど、評価の根拠となる資料のみを掲載することとし、それ以外の実績は「立川の教育」に掲載することとする。

【参考】 26市の教育委員会点検・評価の状況

(1) 評価基準（A～D等）を設けている市

評価基準	市数	備考
設けている市	21	・達成率100%以上を評価基準として設けている市：9市
設けていない市	5	

(2) 評価基準を設けている21市のうち、2段階評価を行っている市

二次評価	市数	備考
実施している市	3	・抽出した重点項目のみ外部委員会で二次評価：1市 ・抽出した重点項目のみ外部委員会が追加意見：1市 ・担当課評価と教育委員会評価：1市
実施していない市	18	

(3) 外部委員からの意見聴取の方法

外部評価	市数	備考
施策ごとに聴取している市	4	
全体として聴取している市	14	
全体・施策ごと両方で聴取している市	8	